

許 可 番 号	倫-495
研 究 課 題 名	外傷性血気胸に対する治療アプローチ
診 療 科	呼吸器外科
研 究 責 任 者	星野 浩延
資 料 ・ 情 報 の 管 理 責 任 者	星野 浩延
研究の目的と方法	<p>外傷性血気胸は、大規模災害時には、高エネルギー外傷に伴って発生する頻度の高い疾患である。緊急の処置を要する場合もあり、的確かつ迅速な治療方法の選択が重要である。また、当疾患は、膿胸へ移行する可能性も高く、当科研究内容「災害時急増する呼吸器感染症疾患（膿胸）に対する手術の意義」との関付けて、研究する必要がある。よって、当院での外傷性血気胸の症例について研究する事で、外傷性血気胸に対しての治療アプローチを明確にし、災害時でも治療方針決定に寄与する事が期待される。以上より、当院が経験した外傷性血気胸の症例について、後方的検討で、保存的加療群、胸腔ドレーン挿入群、手術群に大別し、それぞれの治療に至った理由と因子を項目毎に検討することを目的とした。</p> <p>当院にて、2011年1月より2016年11月までに当院で外傷性血気胸と診断され、入院加療（死亡例も含める）が必要となった症例を対象として、臨床因子・受傷機転・治療・予後を検討する。</p>
利用、又は提供する 試料・情報の項目	男女比、年齢、入院期間、受傷部位(右/左/両側)、受傷機転(交通外傷/転落/転倒/落下物接触/殴打/刺傷/不明)、合併損傷臓器(肋骨/鎖骨/骨盤(重複あり))、初期治療(保存的加療/胸腔ドレーン/手術)、転機(退院/転院/死亡)、また死亡原因(失血死/頭部外傷)
研 究 対 象 者	2011年1月より2016年11月までに当院で外傷性血気胸と診断され、入院加療（死亡例も含める）が必要となった症例を対象
研 究 対 象 期 間	西暦2011年1月から西暦2016年11月の間
利用する者の範囲	当院のみで実施
個人情報の取扱い について	使用するデータは、個人情報特定されないよう匿名化に十分配慮して扱います。 研究成果が公表される場合にも、患者さんが特定できるような情報が公表されることはありません。
お問い合わせ先	<p>該当する研究の対象となる患者さんと、ご自身の情報を利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>順天堂大学医学部附属静岡病院 呼吸器外科 電話：055-948-3111(代表) 研究責任者：星野 浩延</p>